



## 「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～株式会社安震のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、株式会社安震（代表取締役 杉田 規久男）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

### 記

1. 契約締結日 2023年3月28日（火）
2. 融資金額 50百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

### 6. 株式会社安震の概要

代 表 者	杉田 規久男
本社所在地	愛知県岡崎市細川町くぼ地 63 番地 1
業 種	耐震器具企画・販売業
創 業 年	1828 年

### <記念盾贈呈式の様子>



株式会社安震  
代表取締役 杉田 規久男 氏

株式会社名古屋銀行  
常務取締役 山本 克俊

参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

[https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin\\_PIF.pdf](https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf)

以 上

# ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ 株式会社安震 ～



2023年3月28日  
株式会社名古屋銀行  
法人営業部 法人コンサルティンググループ

## はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社安震に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社安震の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

## 借入人概要

借入企業	株式会社安震
所在地	愛知県岡崎市花崗町3
従業員	5名 ※2023年3月末時点
事業内容	耐震器具企画・販売業

## 融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5年

## 目次

1. 企業情報	3
①会社概要	
②沿革	
③組織図	
④事業系統図	
⑤経営理念	
2. 事業内容	9
①概要	
②構造としくみ	
③商品・サービス品質の向上	
3. その他の活動	12
①知的財産権	
②文化財施工実績	
③SDGs宣言	
4. インパクトの特定	19
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	23
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	24
7. モニタリング方法	24
8. 総括	24

## 1. 企業概要



### ① 会社概要

会社名	株式会社安震
創業年	1828年
設立年月日	2004年4月
代表取締役	杉田 規久男
本店所在地	愛知県岡崎市細川町くぼ地 63-1
従業員数	5名 ※2023年3月末時点
決算日	11月30日
名古屋支社	愛知県名古屋市中村区佐古前町 9-8
免震実験・研修センター	愛知県岡崎市花崗(みかげ)町 3



## ② 沿革

1828年（文政11年）	・初代甚造が現在の岡崎市花崗町三番地にて創業
1946年（昭和21年）	・六代目 好雄 岡崎石製品組合組合長に就任
1973年（昭和48年）	・七代目、石の公園団地へ工場移転
1997年（平成9年）	・ジャパンストーンフェア'97へ巨大石臼出展
1999年（平成11年）	・京都大徳寺大仙院住職、大関宗園師の依頼により先代住職の石碑建立（5月）
2002年（平成14年）	・岡崎市大樹寺前住職、中村良観様の石塔を建立（3月）
2003年（平成15年）	・日本青年会議所石材部会の19代部会長を当社社長杉田規久男が拝命（1月） ・株式会社杉田石材店代表取締役役に就任
2004年（平成16年）	・小売店に特化するため有限会社八代設立（4月） ・しずおか国際園芸博覧会（浜名湖花博）に石造美術作品を出品、「金賞」をはじめ「特別賞」など多くの賞を受賞（4月） ・石と和みのショールーム（細川店）オープン（7月）
2005年（平成17年）	・資本金を1200万円に増資、「株式会社安震」に社名変更（10月）
2007年（平成19年）	・NHKテレビ「おはよう日本」において弊社と「安震はかもり®」が紹介される（5月） ・文芸春秋社による取材記事が「週刊文春」6月14日号に掲載される（6月） ・京都 大徳寺大仙院歴代ご住職様の石碑に「安震はかもり®」を施工（10月） ・第1回ものづくりフェアにおいて「岡崎ビジネス大賞」受賞（12月）
2008年（平成20年）	・奈良・元興寺（世界遺産）の石灯籠に「安震はかもり®」を施工（3月） ・徳川家（松平家）の菩提寺である岡崎・大樹寺の無縫塔、石灯籠に「安震はかもり®」を施工（9月） ・（財）建材試験センターにおいて墓石の地震対策の比較実験を行い「安震はかもり®」の優位性を立証（11月） ・「安震はかもり®」の特許（第4238277号）を取得（12月）
2009年（平成21年）	・経済産業省による「地域産業資源活用事業計画」の認定事業となる（7月） ・イギリス国際特許（特許番号GB2439855）を取得（9月）
2010年（平成22年）	・株式会社ウッドピタ（矢作建設グループ）と業務提携（7月） ・NHKテレビ総合ニュースにおいて、名古屋市の河村市長とともに「安震はかもり®」の施工を紹介される（8月） ・比叡山延暦寺の石灯籠など8基に「安震はかもり®」を施工（10月）
2011年（平成23年）	・東京支店オープン（3月） ・「安震いちばん®シート」発売開始（7月）

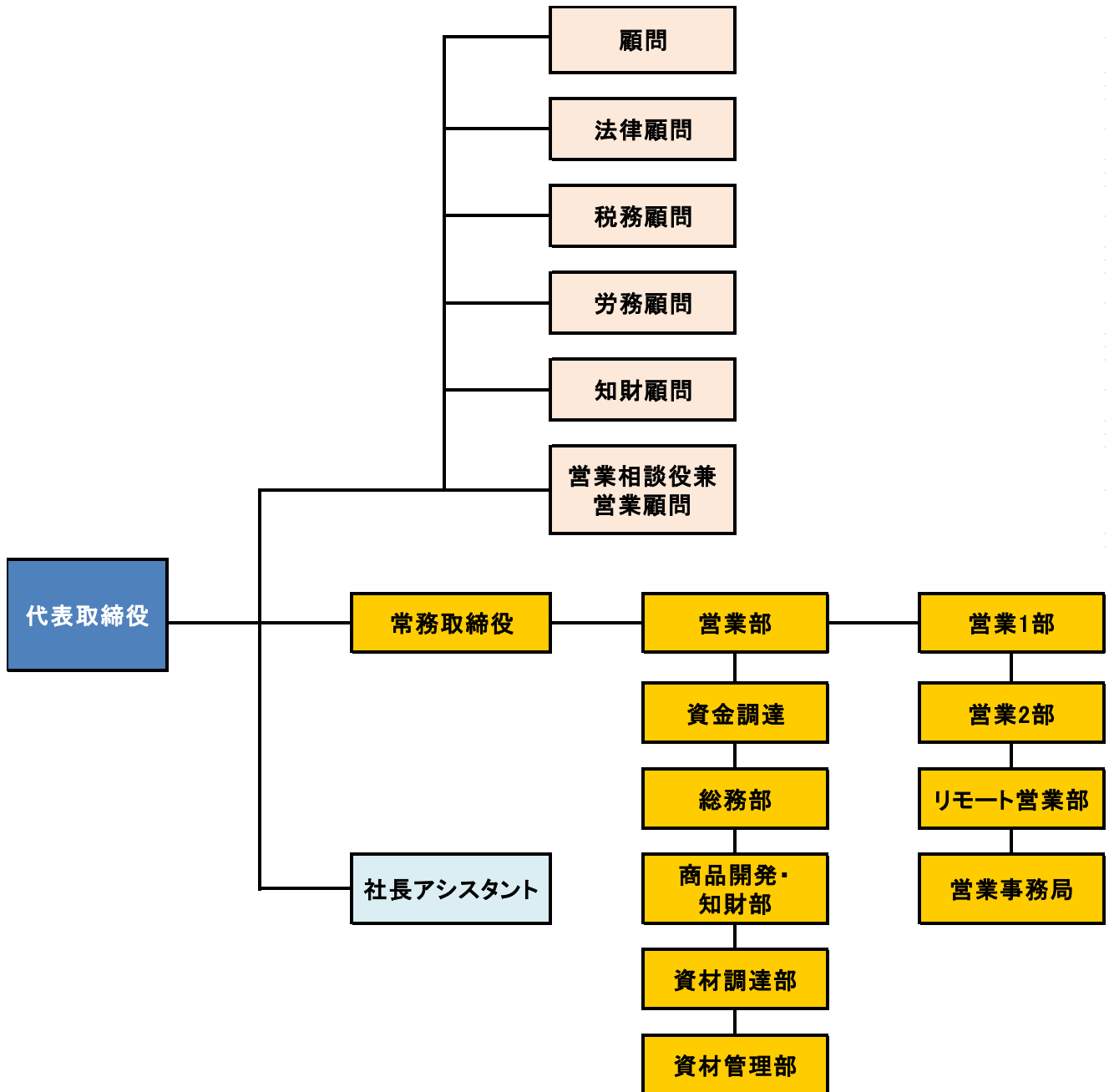
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤモンド社による取材記事が「週刊ダイヤモンド臨時増刊号」7月7日発刊号に掲載される（7月）</li> <li>・ダイヤモンド社による取材記事が「週刊ダイヤモンド」8月8日号に掲載される（8月）</li> <li>・テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」において、「安震はかもり®」が紹介される。（8月）</li> <li>・NHK テレビ「首都圏ネットワーク」において、「安震はかもり®」が紹介される。（8月）</li> <li>・TBS「みのもんたの朝ズバッ！」において、「安震はかもり®」が紹介される。（8月）</li> <li>・本願寺名古屋別院(西別院)の3基の石灯籠に「安震はかもり®」を施工（12月）</li> <li>・財団法人 全日本仏教会の賛助会員となる（12月）</li> </ul>
2012年（平成24年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業用地震対策「安震アジャスター」販売開始（1月）</li> <li>・文芸春秋社による取材記事が「週刊文春」1月19日号に3ページにわたり掲載される（1月）</li> <li>・ダイヤモンド社による取材記事が「慈覚大師 円仁と行く ゆかりの古寺巡礼」に掲載される（3月）</li> <li>・アメリカ国際特許（特許番号 US8182910）を取得（5月）</li> <li>・NHK「ほっとイブニング」において、「安震アジャスター」が紹介される。（9月）</li> </ul>
2013年（平成25年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国国際特許（特許番号 ZL200580048656.X号）を取得（4月）</li> </ul>
2015年（平成27年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ 2015」に出展（11月）</li> <li>・「YAHOO!ニュース」において、「安震アジャスター」が紹介される。（12月）</li> </ul>
2016年（平成28年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ国際特許（特許番号 US9249591B2）を取得（2月）</li> <li>・「安震アジャスター」が、公益財団法人名古屋産業振興公社「名古屋市工業技術グランプリ理事長賞」を受賞（2月）</li> <li>・（独）中小企業基盤整備機構「販路開拓コーディネート事業」採択される。（3月）</li> <li>・日本特許（特許番号 6052741号）を取得（12月）</li> </ul>
2017年（平成29年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安震アジャスター」が、経済産業省「地域産業資源活用事業計画」の認定事業となる。（2月）</li> <li>・代表 杉田規久男が京都大徳寺大仙院様の評議員を拜命（6月）</li> <li>・テレビ愛知「ゆうがたサテライト」において、「安震はかもり®」「安震アジャスター」が紹介される。（8月）</li> <li>・NHK「ほっとイブニング」において、「安震はかもり®」「安震アジャスター」が紹介される。（8月）</li> <li>・東京虎ノ門ヒルズ「イノベーションリーダーズサミット(ILS)2018」出展（10月）</li> </ul>



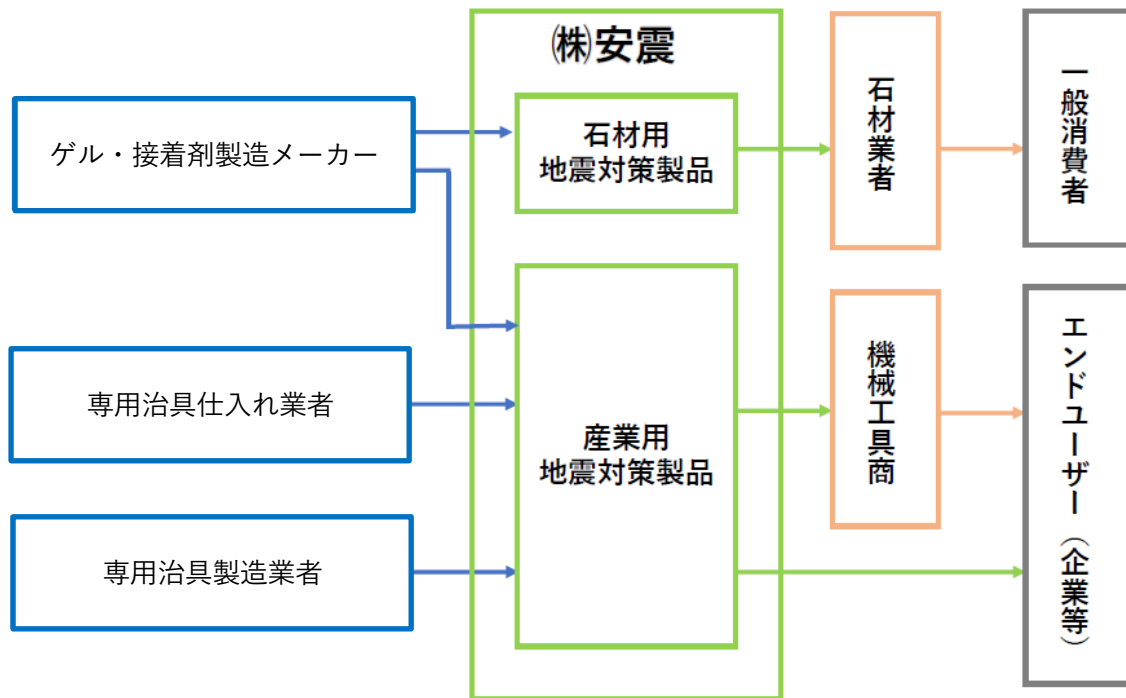
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ愛知「ゆうがたサテライト」において、「安震はかもり®」「安震アジャスター」が紹介される。(12月)</li> </ul>
2018年(平成30年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TBS「坂上&amp;指原つづれない店」において、(株)安震が紹介される。(7月)</li> <li>・日本特許(特許番号第6380928号)を取得(8月)</li> <li>・中部経済新聞において、「安震アジャスター」が紹介される。(11月)</li> </ul>
2019年(令和元年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省 中部経済産業局 平成31年度国内・海外販路開拓強化支援事業費補助金 決定(4月)</li> <li>・アメリカ国際特許(特許番号 US10514078B2)を取得(12月)</li> </ul>
2020年(令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京虎ノ門ヒルズ「イノベーションリーダーズサミット(ILS)2019」出展(3月)</li> <li>・日本特許(特許番号 6779438号)を取得(10月)</li> </ul>
2021年(令和3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs宣言(1月)</li> <li>・第3回あいちサービス大賞 特別賞を受賞(2月)</li> <li>・経済産業省「事業継続力強化計画」認定</li> </ul>
2022年(令和4年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本特許(特許番号 7002073号)を取得(1月)</li> <li>・日本特許(特許番号 7020648号)を取得(2月)</li> <li>・愛知県瀬戸市内に宅地600坪・山林340坪取得(5月)</li> <li>・「COOL CHOICE」に賛同(8月)</li> <li>・「なごやSDGsグリーンパートナーズ」に登録(8月)</li> <li>・「あいちCO2削減マニフェスト2023宣言事業者」に認定(11月)</li> </ul>



③ 組織図



④ 事業系統図



⑤ 経営理念

**世の中に必要とされる企業となる**

お墓という決して安くはない商品を購入してもらう消費者に対して、安心を提供することに全力を注ぐべきであるとの考えのもと当社は事業を展開している。

売ったら終わり、据え付けたら終わりではなく、お墓を通じてお客様・お寺様との末永いお付き合いをすることを念頭に、業界内での情報の共有、お客様・お寺様への正しい情報の発信が、これからの石材業界全体に求められていると考えており、当社は石材業の専門家として正しい情報の発信、製品の提供を行っていくことで石材業界の発展と、ステークホルダーの満足度向上に努めている。

## 2. 事業内容

### ① 概要

過去 30 年間において日本では震度 6 強以上の地震が 20 回発生しており、世界でも有数の地震大国となっている。各企業にとってサプライチェーンの観点からも、事業継続力の強化・BCP 対策は急務であり、大地震にも負けない力が求められている。

発生日	地震名称	震度	発生日	地震名称	震度
1993.1.15	釧路沖地震	6 強	2011.3.11	東日本大震災	7
1994.10.4	北海道東方沖地震	6 強	2011.3.11	茨城県沖地震	6 強
1994.12.28	三陸はるか沖地震	6 強	2011.3.12	長野県北部地震	6 強
1995.1.17	阪神淡路大震災	7	2011.3.15	静岡県東部地震	6 強
2000.10.6	鳥取県西部地震	6 強	2011.4.7	宮城県沖地震	6 強
2003.7.26	宮城県沖地震	6 強	2016.4.14	熊本地震	7
2004.10.23	新潟中越地震	7	2018.9.6	北海道地震	7
2007.3.25	能登半島地震	6 強	2019.6.18	山形県沖地震	6 強
2007.7.16	新潟中越沖地震	6 強	2021.2.13	福島県沖地震	6 強
2008.6.14	岩手県内陸南部地震	6 強	2022.3.16	福島県沖地震	6 強

当社は耐震アンカー（設備アンカー）を打たずに施工が出来る「安震アジャスター」を中心とした地震対策（耐震）製品の卸・販売業に従事している。

地震対策を取る際、大抵の企業は「建物外部・構造」の耐震対策はとっているが、「建物内部」における対策は不十分である場合が多く、当社商材はこの点を補完する機能を有している。

創業文政 11 年（1828 年）、愛知県岡崎市で 180 年以上続く石屋の 8 代目である現代表者が、脈々と続く石屋の技術を継承しながら、石造物を守るための商品として「安震アジャスター」は開発された。

穴をあけたくない、頻繁にレイアウトを変更する場所に最適な地震対策（減災）商品であり、横揺れだけでなく、縦揺れにも強いことが特徴で、震度 7 にも対応している。

**地震対策の新提案！！**  
**床に穴を開けない**

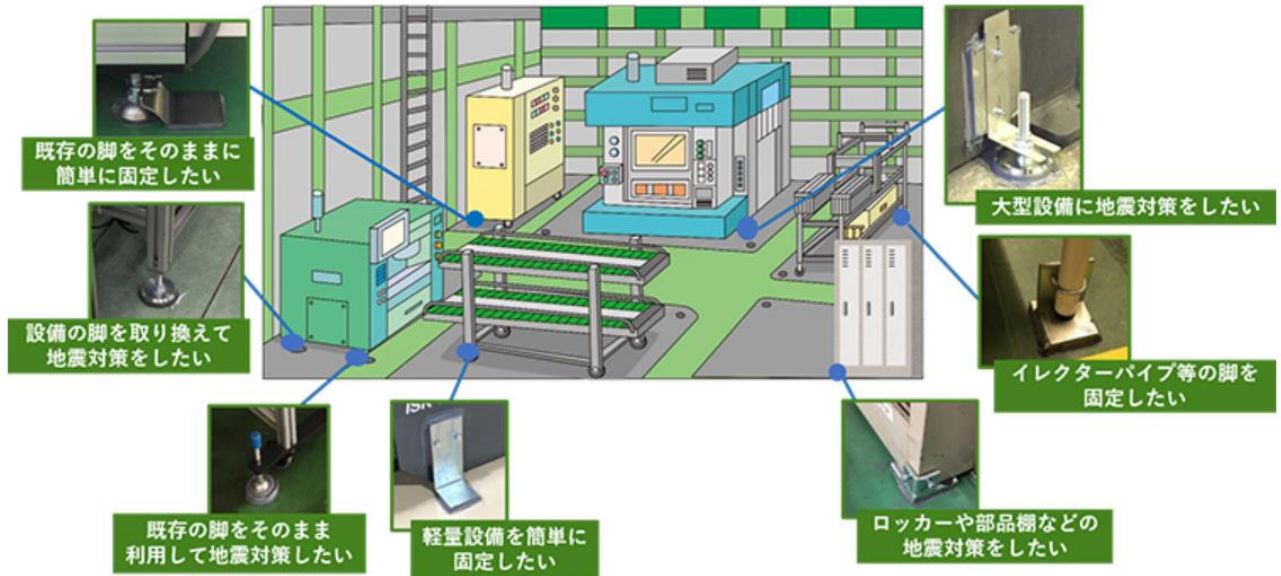
**『安震アジャスター』**

“すぐにできる”地震対策

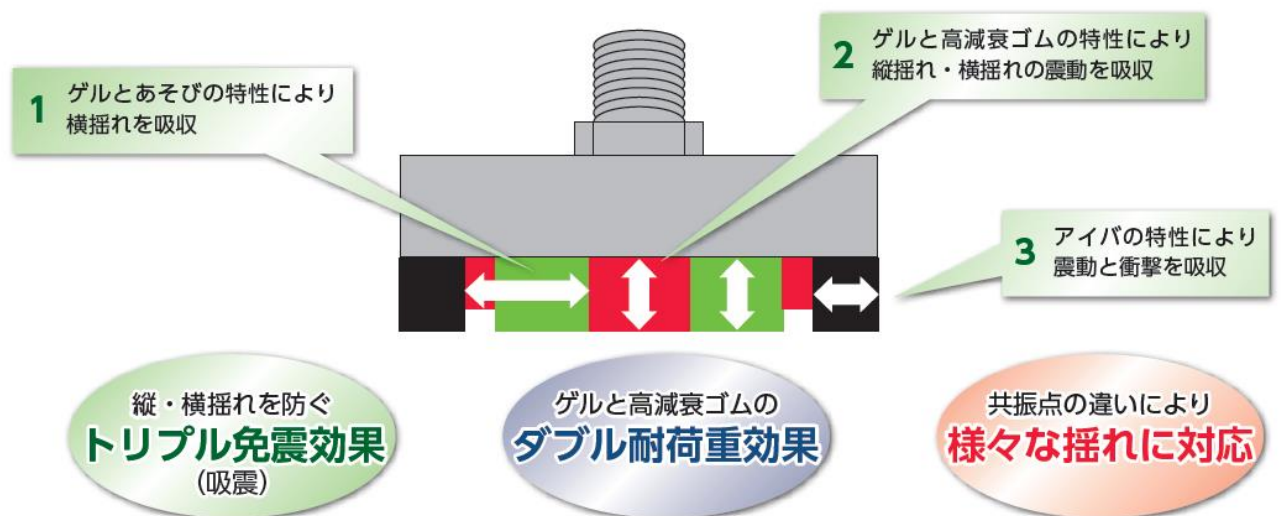
約550社の納入実績



2016年2月2日には、国際特許（アメリカ）を取得した特許取得製品でもあり、唯一無二の製品として認められた。



## ② 構造としくみ



- (1) 専用接着剤でアジャスターと床を繋ぎ止める。
- (2) 特殊ウレタンと高減衰ゴムと専用接着剤の免疫構造により、振動が物体に伝わるのを減らす。
- (3) 吸収したエネルギーは、安震 V3 等の中で熱となり安震 V3 と専用接着剤との空間など他に放散される。

通常の耐震アンカー（設備アンカー）での施工では、床の強度が影響することに対し、安震アジャスターは表面の強度は必要となるが、比較的床の強度の影響を受けない。

また、一般的なゲルは耐荷重が少なく、耐荷重を上げるには大きさが必要となるが、安震アジャスターのゲルは工業専門製品なので、コンパクトでなおかつ一般と並べて約 10 倍の耐荷重を有する。

加えて工場、厨房、屋外など水や油などがかかる条件の場所でも、安震アジャスターは、専用接着剤「安震アイバ」でゲルを封入するので、それらの影響を受けない。

引張強度は M12 の耐震アンカー（設備アンカー）と同等もしくはそれ以上を維持しているが、耐震アンカー（設備アンカー）と同等もしくはそれよりも安価に施工ができることも特徴の一つである。

外部機関とも連携し、エビデンス（科学的根拠）も獲得できている。

#### 【納入実績】

トヨタ自動車(株) (株)豊田自動織機 (株)デンソー (株)アイシン 愛知製鋼(株) トヨタ紡織(株)  
 (株)ジェイテクト トヨタ車体(株) (株)アドヴィックス アイシン機工(株) アイシン化工(株)  
 アイシン辰栄(株) 豊生ブレーキ工業(株) アイシン高丘(株) アイシン東北(株) オーエスジー(株)  
 (株)デンソートリム (株)ジーエスエレテック ブラザー精密工業(株) 日本特殊陶業(株)  
 エーザイ(株) ニコンミュージアム (株)資生堂 山崎製パン(株) (株)福井村田製作所  
 (株)愛知ヤクルト 井村屋(株) ホシザキ(株) 東京大学 名古屋大学 京都大学  
 ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株) パナソニックサイクルテック(株)  
 その他 524 社



## ③ 商品・サービス品質の向上



当社では、安震アジャスターを構成する専用治具、安震V3（ゲル）について、常に改良を重ねながらブラッシュアップさせていくとともに、様々な用途・環境にも応用が利かせられるよう派生商品を開発し続けている。それを可能にしているのは、「自社保有の耐震実験場」と施工業者向けの「施工技術認定制度」である。

自社保有の耐震実験場において試作品開発や既存商品の改良実験が自由に行えることで、顧客からの要望に対して商品のQCD（価格・品質・納期）全てにおいて高位にて対応することができ、顧客満足度向上に寄与している。

また、商品がいくら良くても施工の質が低ければ効果は薄くなってしまおうと考え、施工業者には当社独自の「施工技術認定講習会」の受講を義務づけており、商品理解を深め、正しい施工ができると当社が判断した業者のみに取扱いを認めることで、商品効果を最大化できるよう尽力している。

### 3. その他の活動

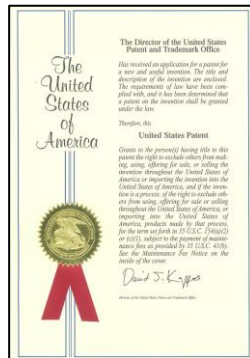
#### ① 知的財産権

当社の最大の強みの一つとして、知的財産権を多数保有している点が挙げられる。国外特許 4 件、国内特許 8 件、商標権 9 件、意匠権 4 件を保有しており、全て現代表者が就任してから取得したものである。当社独自のアイデア、技術、デザイン等が認められた結果であり、業界内において唯一無二の存在である証明と言える。

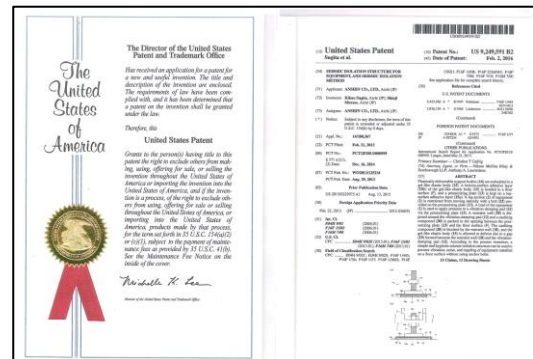
#### ● 国外特許



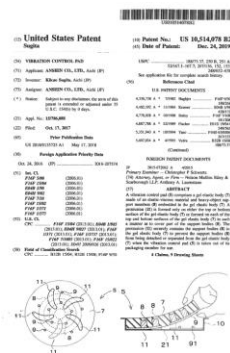
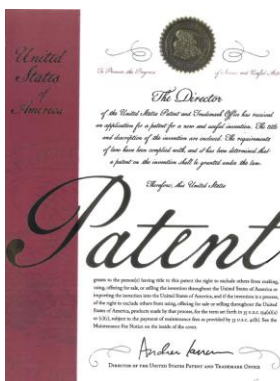
(英) GB2439855  
2009.9.16 取得



(米) US8182910  
2012.5.22 取得



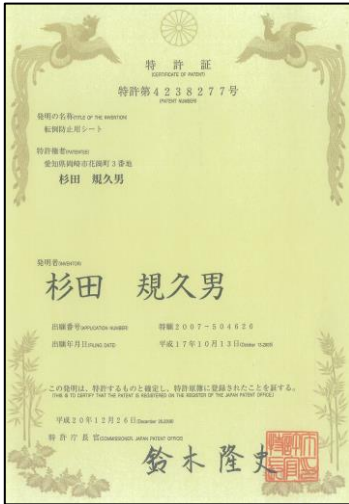
(米) US8182910  
2012.5.22 取得



(米) US10514078B2  
2019.12.24 取得



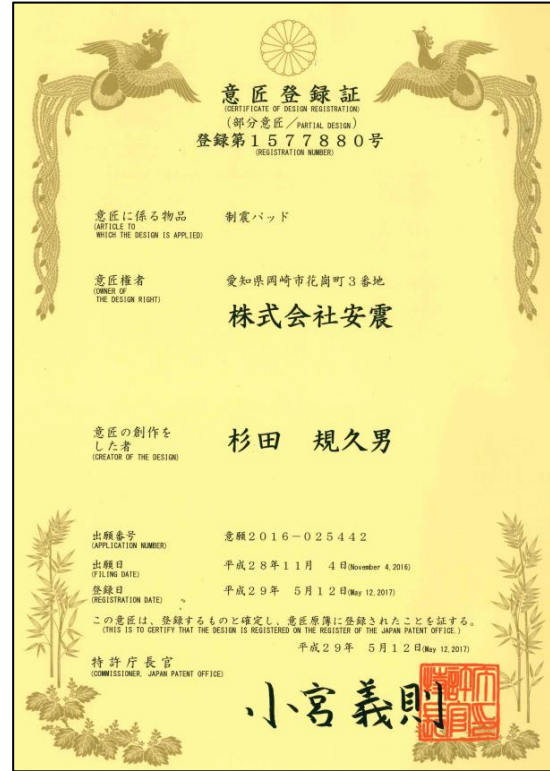
● 国内特許



● 商標権



● 意匠権





## ② 文化財施工実績

経済産業省「地域産業資源活用事業計画」の認定事業として当社事業が認められた実績を持ち、世界遺産・重要文化財への施工実績も多数有している。日本の伝統・文化を守る事業として、社会貢献性も非常に高い事業である。

### ●大徳寺大仙院



### ●音羽山 清水寺





● 比叡山 延暦寺（世界遺産） 「東塔」



東塔入口 石灯籠



大黒堂 石灯籠 2基



法華総持院・阿弥陀堂 石灯籠 2基



大講堂 石灯籠 2基



国宝殿前 石灯籠

● その他実績

- ・ 額安寺（奈良重要文化財） 「宝篋印塔」
- ・ 元興寺（世界遺産） 「春日灯籠」
- ・ 大樹寺 「石灯籠」「無縫塔」
- ・ 常夜灯 「東区古出来会館」
- ・ 旧弘前藩主・津軽家歴代墓所
- ・ 公益財団法人 東京都公園協会 「青山霊園」「明治公園」「日比谷公園」
- ・ 塩月弥栄子（宗苾）師 「墓所改修工事」
- ・ 華巖寺 「歴代ご住職様の墓石」
- ・ 長岳寺 「五輪塔」
- ・ 豊川稲荷 「本堂前 石灯籠」
- ・ 本願寺名古屋別院（西別院） 「石灯籠」

③ SDGs 宣言

## 株式会社安震 SDGs 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、SDGsの達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2021年1月8日  
株式会社安震 代表取締役社長 杉田 規久男

### SDGsの達成に向けた取組み

#### 人権

人材育成と公平な待遇、労働環境を向上させ、当社で働くすべての人が安心して働ける職場環境の構築に取り組んでまいります。  
《具体的な取組み：ハラスメント防止の徹底、キャリア形成をサポートする社員研修》



#### 地域資源の積極的利用

日本三大石製品産地の岡崎市で作られた「お墓」を末永く守る為、墓石用免震技術を開発・商品化して普及させてまいります。  
《具体的な取組み：墓石用免震ゲル「安震はかもり」、[地域産業資源活用事業計画]の認定》



#### 環境対策

環境に優しい社会を目指し、環境保全や環境負荷軽減に繋がる事業活動を通じて継続的な地球環境の保護を行ってまいります。  
《具体的な取組み：太陽光パネルの設置、エコドライブの推進、RoHS指令への取組》



#### BCP対策

各種機器設備の地震対策として免震技術を生かし、企業経営の脅威に対する備えのサポートに取り組んでまいります。  
《具体的な取組み：産業用地震対策「安震アジャスター」、日本・米国・中国・イギリス特許取得》




×


当社は事業活動を行っていく中で、従業員の労働環境の整備、地域資源の積極的な保護、環境負荷低減策の実施、BCP対策（免震）への貢献等を行いSDGsに貢献していくことを宣言している。今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、SDGs宣言と共通した分野でのKPIを設定する。



#### 4. インパクトの特定

##### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社安震の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社安震の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社安震の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については株式会社安震が直接関与できないため次の事項を検討する。

ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社安震の事業が貢献できることがないか検討する。

ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。



②インパクト分布図

インパクトカテゴリ	川上の事業						同社事業				川下の事業			
	【 2013 】		【 2593 】		【 4663 】		【 4663 】		【 7110 】		【 2396 】		【 4663 】	
	プラスチック及び合成ゴム素材製造業		刃物、手道具及び一般金物類製造業		建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業		建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業		建築・エンジニアリング及び関連技術コンサルタント業		石材切り出し・形削り・仕上げ業		建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）														
食料														
住居			★		★		★		★★		★		★	
健康・衛生					★		★		★				★	
教育														
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー					★		★						★	
移動手段														
情報														
文化・伝統														
人格と人の安全保障														
正義														
強固な制度・平和・安定														
水（質）		★★		★		★		★				★		★
大気		★		★		★		★				★		★
土壌		★★												
生物多様性と生態系サービス						★		★						★
資源効率・安全性		★		★					★			★		
気候		★		★		★		★				★		★
廃棄物		★★		★		★		★		★		★		★
包摂的で健全な経済	★		★									★		
経済収束														

川上の事業としては、当社が企画・設計をした「安震アジャスター」を構成する部材・部品を製造・卸売業者が該当し、当社事業としては卸売業者（川下企業）に対する B to B での販売事業が該当する。なお、エンドユーザーの中心はプライム上場企業や病院を中心とした法人であり、非常に多岐にわたっている。

事業全体を通して、ポジティブインパクトとしては『住居』『健康・衛生』『雇用』『資源効率・安全性』『包摂的で健全な経済』が確認された。（『エネルギー』については配管・暖房設備器具の卸売に対して認められる要素と考えられ、当社事業との関連はないものと見なし分析対象外とした。）

特に、永い業歴の中で培われた石材に対する知識・ノウハウをもとに考案された地震対策商材「安震アジャスター」は、効果的な取付方法の指導業務も含め、人々の健康的な暮らし・生活空間を災害から守るという面で『住居』『健康・衛生』『資源効率・安全性』に関するポジティブインパクト拡大に寄与している。また、BCP対策の観点より販売先の事業活動の継続を支えるという面では、カテゴリには表れていないが、『包摂的で健全な経済』への貢献も評価できる。

国際特許も含めた知的財産権の保有は、当社製品が唯一無二であり、高い有用性があると第三者的に認められていることの証明であるとともに、高い参入障壁としての効果により、今後も業界内では独占的な立場が維持されていくものと考えられる。

また、業種としてのカテゴリにはなかったものの、世界遺産も含めた文化財への当社製品を使用した免振対策は、知名度の向上のみならず、『文化・伝統』に対するポジティブインパクトに貢献していると考えられる。

一方で、ネガティブインパクトとして『雇用』『水（質）』『大気』『土壌』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』について確認された。

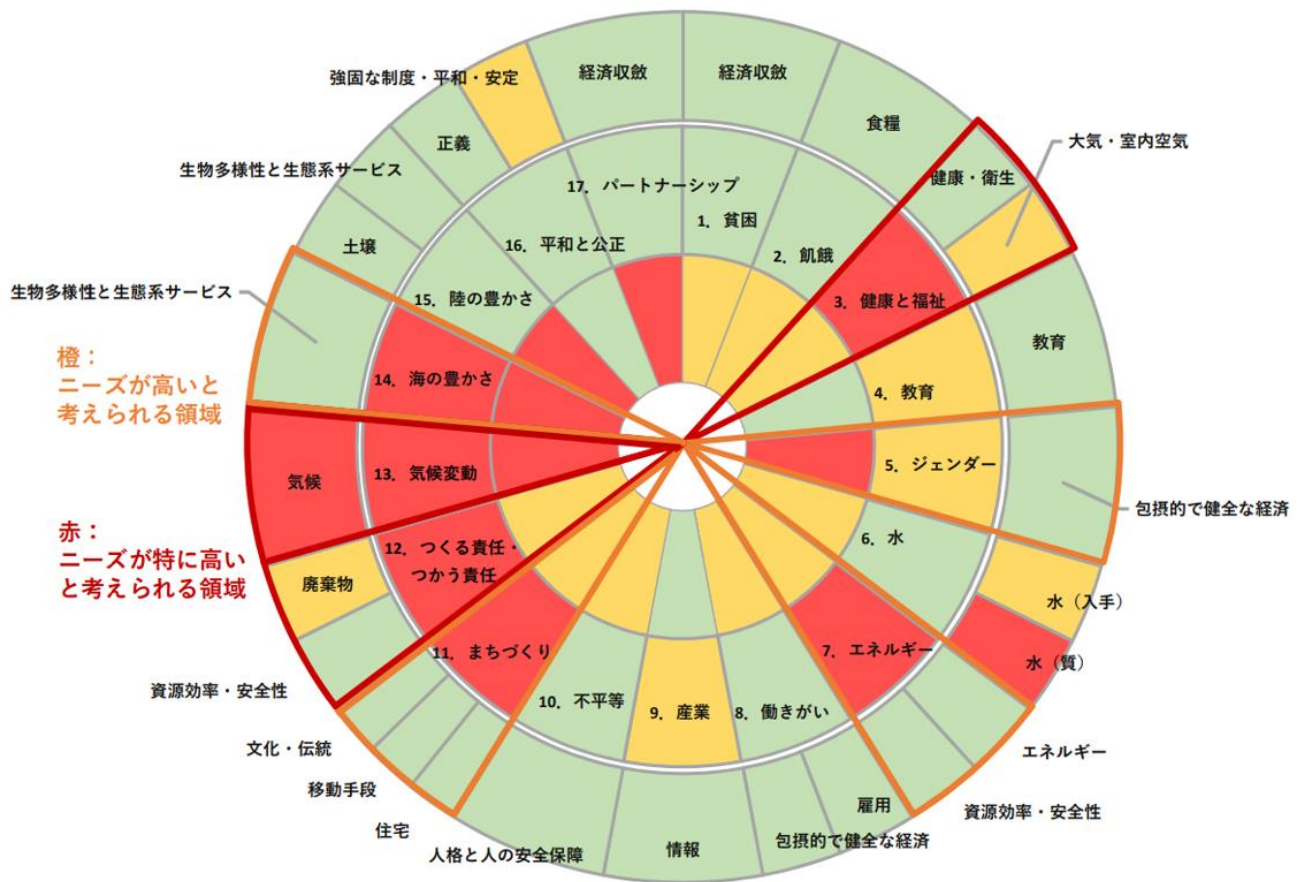
部材・部品・製品の製造・加工・組立・配送を行う中で発生する有害物質・廃棄物が原因と考えられるが、当社としては今後とも製品の改善を進め、特定有害物質の不使用および環境負荷軽減に繋がる施策（エコドライブ、環境負荷の低い部品・部材の使用）を実施し、ネガティブインパクト縮小を図っていく方針である。

なお、『雇用』のインパクトについては、事業拡大していく際、男女を問わない平等な雇用とOJTを中心とした人材教育によりポジティブインパクトを拡大するとともに、適切な労働環境・制度の整備を進めネガティブインパクト縮小を進める。

### ③ 国内のインパクトニーズ



環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

次ページの「5. 測定する KPI」において名古屋銀行が特定した株式会社安震のインパクトと対応する SDGs のゴール「3、5、9、11」について、赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



## 5. 測定するKPI


### ①事業拡大・技術力向上によるBCP対策促進（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大、社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「住宅」「文化・伝統」「包摂的で健全な経済」
関連するSDGs	 
対応方針	事業拡大、技術力向上、BCP対策支援
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社商材を普及させ売上高20%増を達成することで、日本企業のBCP対策を促進する（実績報告）</li> <li>・独自技術開発に注力し、新たに特許権を2件取得する。（実績報告）</li> </ul>

### ②女性が活躍できる職場の整備（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	女性登用の促進
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女問わず平等な雇用と育成に努め、女性の管理職登用を積極的に行う（実績報告）</li> </ul>

### ③環境負荷低減（ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」
関連するSDGs	
対応方針	CO2排出量削減目標を達成するための施策実施
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間のCO2排出量を4.2%/年 削減するためにエコカーの導入及び省エネ運動を実施する（実績報告）</li> </ul>

## 6. インパクトの管理体制

株式会社安震は代表者を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、と法人本部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 杉田 規久男
-------	--------------

## 7. モニタリング方法

株式会社安震に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

## 8. 総括

株式会社安震の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社安震が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。